

(仮称)北上野二丁目福祉施設の整備について

1 経緯

平成30年度から松が谷福祉会館の老朽化による改築の検討を開始し、障害者支援機能の充実や発達障害児支援の強化と共に、子供や若者の相談・支援の機能も併せて検討を進めてきた。その後、機能の強化や新たな機能の付加、またそれによる様々な利用者の利便性等を考慮のうえ、松が谷福祉会館の現敷地から旧上野忍岡高校跡地に整備地を変更し、施設機能の検討を進めている。

2 今後の検討

これまで施設整備の検討については、当初松が谷福祉会館の改築が前提であったため、同館が主体となって進めてきた。その後、整備地の変更により床面積を大きくとれることから、松が谷福祉会館の機能に加え子供・若者の相談・支援機能等に係るボリュームの増加が見込まれる。また、この新たな機能は、区民部、福祉部、健康部及び教育委員会との横断的かつ緊密な連携が必要であることから、担当副参事によって次のような施設の主な機能について具体的なイメージを作成する。

- (1) 子供・若者（0～39歳）の支援
- (2) 障害者の日中活動支援
- (3) 交流の場
- (4) 二次（福祉）避難所、防災機能

3 検討体制

(仮称)北上野二丁目福祉施設整備プロジェクトチーム
子供・若者相談支援機能部会
障害者支援機能部会

4 今後のスケジュール（予定）

令和3年度 基本構想策定